

## 第2次 竹の台5か年計画（案） （2019年4月～2024年3月）



竹の台を一つの家族に  
～思いやりと元気あふれる「まち」をめざして～

### ■ 5年後のまちのすがた（全体目標）

#### 1. 誰もが地域とつながり、安心して暮らせるまち

全ての世代が安心・安全に暮らせるよう、みんなが協力しあい、声をかけあい、支えあう「まち」にしよう。

#### 2. 魅力あふれる人や活動がいっぱいのまち

さまざまな世代が生活し、一人ひとりが得意分野でまちの活動に参加することで、明るく、楽しく、元気あふれる「まち」にしよう。

#### 3. 自立と自律のまち

まちに必要な活動を、自分達で考え、話し合い、決定し、実行できる「まち」にしよう。

### ■ 竹の台地域委員会の活動方針

1. 計画を推進するための具体的な活動を企画・運営する人材（特に若い世代）を発掘し、育成する。
2. 住民の意見や活動を収集・集約・公開しやすい環境を整備する。
3. 日常生活のちょっとした「困った」を、気軽に相談できる地域づくりをめざす。
4. 「子育て」分野の活動を推進する。
5. 「オリーブ」を使ったまちづくりをさらに進める。

## ■課題別目標（交流親睦・住民自治・高齢化・少子化・防災・防犯・生活環境）

### 1. 住民交流・親睦

方針：様々な立場や世代の住民同士が交流・親睦を図れる機会や場があるまちをつくる

- (1) 様々な立場や世代の住民同士が交流・親睦を図れる機会や場を企画・運営する人を増やす
- (2) 住民交流・親睦のための環境を整備する
- (3) 住民交流・親睦の場を支援する仕組みをつくる
- (4) 住民交流・親睦の場を図りやすい情報発信を行ない、積極的な参加を促す

### 2. 住民自治

方針：自治会等を中心に、各団体が連携し、住民が主体的に参画しやすいまちをつくる

- (1) 活動や経験が蓄積・持続可能な自治会・管理組合の運営体制をつくる
- (2) 新たな人材を発掘し、地域活動主体を育てる
- (3) 地域の自主財源を確保する

### 3. 高齢化

方針：高齢者が立場を気にせず交流し、生き生き暮らせ、活躍しやすいまちをつくる

- (1) 高齢者が肉体的、精神的に元気でいられる環境をつくるため、立場を気にせず交流できる機会や場をつくる
- (2) 高齢者が安心して生活できる環境をつくるため、専門家や関係施設・団体と地域が連携し、高齢者の生活を支援できる体制をつくる
- (3) 地域活動の今後の担い手を確保するため、高齢者が自らの能力を発揮し、再び働いたり、地域貢献できる機会や場をつくる

### 4. 少子化

方針：地域全体で子どもを育て、次世代も竹の台の定住を選ぶまちをつくる

- (1) 若い世代が住みたいと思う魅力を自ら発掘し、作り、発信する
- (2) 子育てしやすい環境をつくる
- (3) 子どもがのびのび遊べる環境をつくる
- (4) 子どものころから地域活動に参加できる環境をつくる

### 5. 防災

方針：家庭、自治会、竹の台全体それぞれで防災対策が図れるまちをつくる

- (1) 家庭、自治会、竹の台全体それぞれで防災計画を策定し、それに基づく訓練や、施設・設備・備蓄等の整備を行なう
- (2) 災害時に、住民同士で助けあえる力をつける。特に、高齢者をはじめとする災害時要援護者を住民同士でケアできる体制をつくる
- (3) 1家族1名の市民救命士習得を実現する

### 6. 防犯

方針：自治会・管理組合が主体となり、住民全体の防犯意識を高める

- (1) 各自治会・管理組合が自主的に、防犯活動を実施できる体制をつくる
- (2) 見守りボランティアを募集し、防犯パトロールが効果的・継続的に実施できる体制をつくる
- (3) 門灯点灯運動などにより夜も明るいまちを実現する

### 7. 生活環境

方針：あらゆる世代の住民が協力して、環境にやさしく、美しいまちをつくる

- (1) 公園や公共施設を住民みんなが気持ち良く使えるような環境を整える
- (2) 地域で食品ロスの削減に取り組み、フードドライブの発信基地となる
- (3) オリーブを中心に、食べられる植物を活用したまちの活性化を図る

## ■新たな活動提案

計画項目	カテゴリー	具体的な活動
1. 住民交流 親睦	スポーツを通じた世代間交流	①地域を知るウォークラリー (竹の台探検隊) ②年1回地域で体力測定 ③地域全員参加のグランドゴルフ大会
	男性の交流の場を増やす	④料理教室 ⑤見守り・小学校ボランティア ⑥ビアガーデン
	レクリエーションを通じた交流	⑦カラオケ ⑧輪投げ ⑨子どもの遊び(ビー玉、メンコ、ゴム飛び)
		⑩スマホの使い方講座の開催
		⑪交流の場の確保 ~ 学校・体育館・集会所等
2. 住民自治		①意見を出しやすい仕組みづくり ~定期的なネットアンケートの実施など
3. 高齢化		①高齢者が自由に参加しやすい居場所・相談場所・人の配置
		②地域のお助け隊(家事やゴミ出し)
		③高齢者見守り~大人のあいさつ・声かけ運動
4. 少子化	子育てしやすいまち	①子どもと地域住民との交流の場~公園の活用 ペタンク大会・ミニ四駆大会・ゲーム・プログラミングなど
		②子どもの集まれる場~マンション集会所活用
	若い世代が住みやすいまち	③中高生の休日の居場所づくり~集会所の活用
		④小学校の体育館や図書館の活用
		⑤竹の台公園の活用 ~バスケットゴールやテニス壁打ち施設
		⑥新図書館の活用(自習室など)
		⑦映画館
5. 防災		①公園に防災資機材を設置
		②子育て世代の防災意識啓発
6. 防犯		①防犯カメラの設置を各自治会で検討
		②横断歩道や信号の必要箇所を自治会で提案
7. 生活環境		①フードドライブのさらなる推進(週間や他地域との交流)
		②オリーブの実の活用~地場産商品の開発や販売